

詩を共有するひとときを・・・

## 「詩(ポエム)カフェ」

ひと月に一度、中央図書館で「詩(ぼえむ)カフェ」が開かれています。時間は2時間。10代から80代までの男女が自作の詩を、または好きな詩人の詩を声に出して読み、その詩について自由に語り合うのです。



### 年齢層も幅広く、遠方から多くの参加者

参加者はおおよそ10名くらい、古参の方もあれば、新しい方もいらっしゃいます。詩を読み上げたあと、詩編にそれぞれ、ご自分の来し方や経験を重ねるようにして、お話をされます。盲目の方が来られたこともあります。海外に住む幼いお孫さんの詩を披露された方もいます。俳句や短歌を読まれる方もいます。また、柳井市から2時間もかけて参加される青年も。この青年は、ギターで詩に曲をつけて、参加者の前で一度ならずご披露くださいました。

帰り際車の窓開け

じゃあまたね

だいたい毎回エンジン

入れてからが長い

ちゅうてからちゅうてからええよ

「ちゅうてからええよ」 中西 祐介



**詩**ははじめてで、詠んだことがないという方もいれば、歴史ある詩の結社に籍を置き、長い詩歴を持たれた方もおられます。

私は自分の中に

もうひとつのトマトを見ていたのかもしれない

薄い膜に辛うじて包まれていて

針を刺せば 音を立ててはじけそうなそれを

「トマト」 森本 眞智子



ほたるかご

たくさんならぶよ

るいるいと

かがやくあかり

ごらんあれ

「ほたるかご」 嶋崎 利花

一編の詩をシェアする時間は、日常には在りがたい、楽しくてとくべつな時間です。笑いが高揚感に満ちあふれています。みなさん、見学だけでも「詩(ポエム)カフェ」を覗いてみられませんか？

(文:香川 真澄)

## 詩の好きな人あつまれ! 『詩(ポエム)カフェ』

— あなたも、自分の好きな詩、短歌・俳句を紹介しあいませんか? —

日時/毎月1回日曜日 午前10:00～ ※曜日は変更する場合があります

会場/山陽小野田市立中央図書館 2F和室

対象/中学生～大人まで

持ってくるもの/自分の好きな詩、又は自作の詩や俳句などを持ってきてください。

お問合せ/山陽小野田市立中央図書館 TEL:0836-83-2870

